

2007年(平成19年)1月22日(月曜日)

# 部分隔離で石綿除去

小川テック・ミヤテラ

## 実施工で安全性など確認

プラスチック膜製品メーカーの小川テック(東京・江東、井上隆司社長、☎03・5677・1267)が開発の、吹付けア

スベストを対象箇所のみ部分隔離してアスベストを除去する新工法「ふうじろうじ」が、東京都杉並区内のマンションと川

市内内の倉庫での除去工事に採用された。本工法開発に協力し実際に施工したアスベスト除去業者のミヤテラ(東京・品川、☎03・3474・3620)の宮寺力也社長は「非常に安全な作業ができた。しかも本工法が適正な隔離方法として自治体に認可されたことは大きい」と語る。本工法では、建物内の吹付けアスベストが露出している対象箇所から約30センチ間隔でフィルムを張って密閉し、負圧状態を作る。隔離フィルムにはクローブと廃棄袋などが付いており、クローブに作業員が腕を入れてアスベストをかき落とす。塵石綿は廃棄袋に集めシリコンで口を封じて切り取って回収する。セキユリティフースやエアシヤワーの設置が不要になり、コスト削減につながる。また、高所作業車の使用による除去作業もで

部分隔離による除去作業の様子



ら、アスベストの重みで隔離がはがれる危険性は低い。除去作業の仕上げに行う飛散防止剤塗布や潤滑なども、専用の工具投入口を活用することで、周辺への飛散がな

く作業ができる。

中拒リスクも低減されるため、作業効率の向上も期待できる。隔離フィルムはポリエチレン製で1平方メートルあたり約60キロの荷重に耐え、約6倍伸びることが

同社では、複雑な構造の現場や建物の一部、部屋単位での作業、稼働中の工場建屋での除去作業でのふうじろうじの適用を期待しており、今後積極的な営業活動をすすめていく。